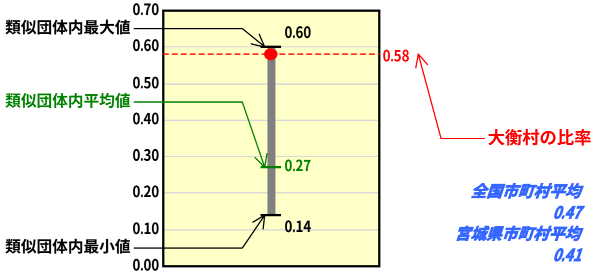
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

宮城県 大衡村

人　　口	5,747	人(H17.3.31現在)
面　　積	60.19	k㎡
歳入総額	3,557,703	千円
歳出総額	3,382,753	千円
実質収支	174,950	千円

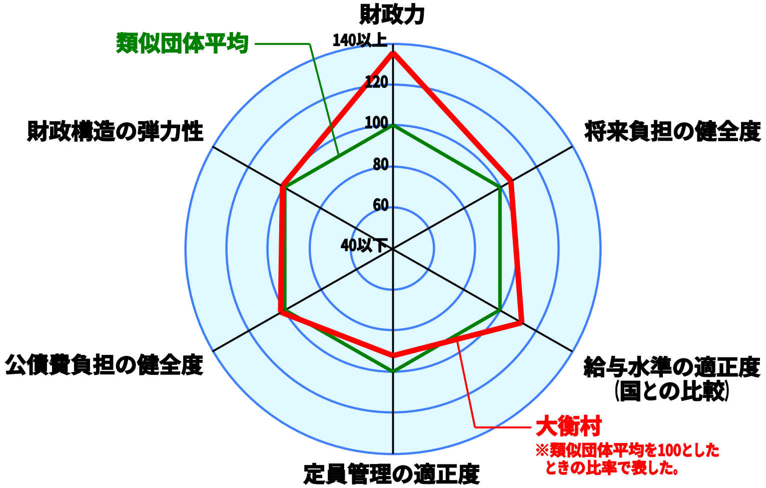
財政力

財政力指数 [0.58]



類似団体内順位
[3/110]

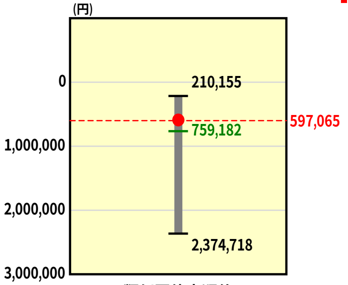
全国市町村平均
0.47
宮城県市町村平均
0.41



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [597,065円]

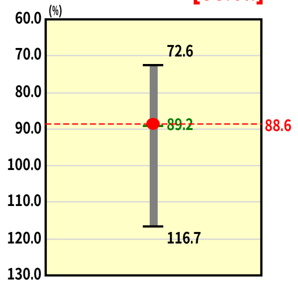


類似団体内順位
[30/110]

全国市町村平均
466,109
宮城県市町村平均
547,056

財政構造の弾力性

経常収支比率 [88.6%]

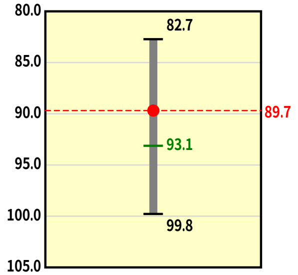


類似団体内順位
[43/110]

全国市町村平均
90.5
宮城県市町村平均
91.8

給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 [89.7]

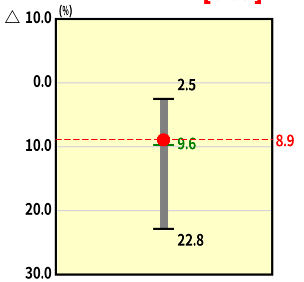


類似団体内順位
[20/110]

全国市平均
97.6
全国町村平均
93.7

公債費負担の健全度

起債制限比率 [8.9%]

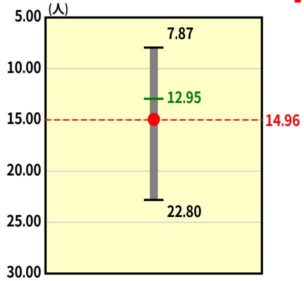


類似団体内順位
[39/110]

全国市町村平均
11.2
宮城県市町村平均
12.7

定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [14.96人]



類似団体内順位
[78/110]

全国市町村平均
8.12
宮城県市町村平均
8.34

分析欄

■財政力指数

・ ここ3年間で連続した伸びをみせており、０．５８となっている。これは企業立地に努め,村税の確保に努めたことが要因としてあげられる。これからも村税を中心とする歳入確保に努める。

■経常収支比率

・ 各事業の削減をはかったことにより類似都市平均を下回っている。今後とも、事務事業の見直しを更に進め、事務事業の優先度を厳しく点検し、優先度の低い事務事業については計画的に廃止･縮小を勧め、経常経費の削減を図る。

■起債制限比率

・ 類似都市平均を下回っている。今後も適切な地方債管理等を行い、引き続き水準を抑える。

■人口1人当たり地方債現在高

・ 現在のところかなり類似団体を上回っているが、今後は適切な地方債管理を行い交付税未算入地方債の発行の抑制を行い、類似団体平均を上回ることのないように努める。

■ラスパイレス指数

・ 類似都市の平均よりも低水準にある。今後は各種手当等の点検を行い、より一層の給与の適正化に努める。

■人口1，000人当たり職員数

・ 類似都市平均を大きく上回っている。公園管理等など民間委託し、また早期退職の勧奨また定年退職者の不補充など、職員の削減を図るとともに計画的な職員の定員管理に努める。